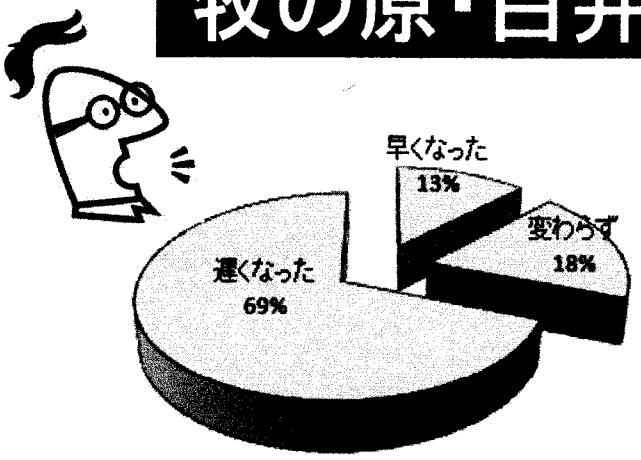
住民そこのけ、スカイライナーが通る

成田新高速開通前と後の北総線ダイヤ

北総線の70%が遅くなった！

牧の原・白井⇔高砂間 平日の上り下り



全電車160本中
111本が「遅く」なり
「変わらない」が29本
「早くなった」はわずか20本

「空港客だけでなく、沿線住民へも利便性を提供」といっていた成田新高速。しかし実際は、沿線住民に利便性を与えるどころか逆に奪っています。成田新高速開通前、昨年7月16日までの北総線の時刻表の所要時間は、「印西牧の原⇔高砂」は33分、「白井⇔高砂」は23分とハンをつくように一定で、違っても前後1分と正確でした。

しかし開通後は、割り込んだスカイライナー、アクセス特急を最優先させたため北総線のダイヤはガタガタ。「印西牧の原⇔高砂」は27分～43分、「白井⇔高砂」は17分～33分とバラバラになってしまいました。電車による時間の違いは、安全運転上大丈夫？と不安になるほど。

しかも、時間短縮ならまだしも、北総線ダイヤの70%が、開通前よりも所要時間が増えて、到着がおそくなりました。

開通前と開通後の北総線の平日ダイヤ上り下りの全電車160本の所要時間がどう変わったかを比べてみると、例えば「白井⇔高砂」間は111本が遅くなり（53%が5分以上、最長では10分所要時間が延長）、以前と「変わらず」は29本、「早くなった」のは上下合わせてわずか20本だけで、70%弱と圧倒的多くが不便になっています。

「アクセス特急に乗り換えれば…」の声もありますが、待ち時間を考えれば都心へ早く着ける電車は、ごくごく僅か。「遅くなった電車よりは早く着く」程度で以前より遅くなったことに変わりはなく、これをメリットと思うのは勘違いです。

「NT中央」など特急停車駅でも…

この傾向は「千葉ニュータウン中央」などアクセス特急停車駅でも同様。アクセス特急上り・下り51本を合わせた211本でみても「遅くなった」は121本（57%）、「前と同じ」が22本、「短縮」はアクセス特急中心の68本（32%）にとどまっています。しかもアクセス特急の都心行きは、朝6時半～8時半の通勤時間帯の間には3本しかなく、利用できる人は限定的。日中の2時間で3本と比べると、誰のためのダイヤ編成か明らか。

「そこのけ、そこのけ、京成が通る」です。

「成田スカイアクセス」のただ乗りをやめさせ、北総線高運賃の大幅値下げを！

沿線住民 ふんだり、けったり

京成スカイライナーはタダ乗り 線路建設の借金は住民の肩に
成田新高速の運行優先で 通過待ちや所要時間が増え
わずかな値下げと交換に 自治体の税金補助強いられる

千葉ニュータウン地域の将来にとって画期的といわれる2010年7月の成田新高速の開通。たしかに国際空港アクセスは改善しました。しかし、地域住民にも「よかった」と実感できる利便性やサービス向上がもたらされたでしょうか。事実は逆で、地域発展の阻害要因である北総線の高運賃問題は据え置かれた上に、住民にはさまざまな不便が押し付けられ、住民を犠牲に走る成田空港アクセスのいびつで不公正なしくみを一層増幅した形になりました。
地域住民の皆さんの声をきいてみました。

北総運賃問題・はてな？シリーズ 7

嘆き、怒り 住民の声

●都心への時間が余計かかるようになり、それまでより1本前の電車に乗ることになってしまった。駅のホームを特急が頻繁に走り抜けるから、危なくて仕様がない。特急が白井に止まるようにでもなれば、いくらかはましだけど、今のままでは、運賃は高いは、特急が止まらないは、じゃ、おさまらないわよね～。

●8時36分西白井発に乗車、都心へ。矢切駅でスカイライナーに抜かれて4分待ち。通常西白井・高砂間の20分が、24分かかりました。夕方、京成・町屋駅でスカイアクセスと急行をやり過ごし、10分近く待って各駅停車に乗車。高砂駅に16時30分頃到着。16時39分発印旛日本医大行き各駅に乗車。途中、矢切駅でアクセス特急、新鎌ヶ谷駅でスカイライナーに抜かれて、西白井駅17時07分着。高砂→西白井28分。通常は20分だったのに家内共々げんなりでした。

●7月のダイヤ改正（改悪？）で、通過待ちの他に接続待ちが増えた感じがします。とはいえ、1～2分違いで乗れない場合もあります。
私は、平日の通勤時間帯に乗っていて、大きな変化がありませんが、1分間所要時間が長くなりました。たかが1分、されど1分です。毎日乗る身には、朝の1分は貴重です。

●家が成田湯川に近いので、便利になると思っていたが、成田湯川の下り最終が10:32なので、東京で9:30には切り上げなくちゃなりません。これでは役に立ちませんよ。

「違法な補助金支出賠償せよ」市民が提訴

北総線運賃4.6%引き下げの原資に、自治体が北総鉄道に補助金を出すことは、高運賃是正の根本的解決を妨げるとして、白井市議会が2度にわたって補助金助成予算を否決したのに、横山・白井市長がこれを違法に専決処分して支払いを強行したことに対して、白井市民13名が補助金を返還するよう求めて、市長を訴える住民訴訟を、昨年12月21日に千葉地裁へ提出しました。

新年おめでとうございます。北実会は今年もがんばります。引き続きご支援（財政・活動）をお願いします。

北総線の運賃値下げを実現する会　2011/1
連絡先　白井市堀込2－1－5－704
TEL&FAX 047-492-4537　発行 2011/1/7